

朝倉とともに 2017.11.19

防災士 朝倉災害支援ボランティア活動センター

代表 天野 時生 副代表 橋本 康弘

第13号

柿農家再生プロジェクトVI

当日はこの秋、真冬並みの寒気が流れ込み12月上旬の寒さでさらに冷風が吹く中の厳しい天候となった。しかし、人の出足は思ったよりも悪くなく、イベント内で販売ブースを4ヶ所設け、朝10時から販売を開始したが瞬く間に完売となった。朝倉の豪雨復興災害支援を深くご理解いただき感謝感激だった。

災害復興支援 志波柿の販売

11月19日(日)那珂川町のイベント「南畑美術散歩」にて、九州北部豪雨災害復興支援として志波の富有柿の販売を行い、気温10度を切る冷たい風の吹く中、80袋を完売した。



前日18日に志波柿の販売準備のため昼過ぎに柿農家の方から3ケース約250個を仕入れ、その日の夕方、当日販売を行うスペースにて一袋ずつ丁寧に袋詰め作業を行った。また、復興支援の看板作成も行った。



このイベントは南畑地域活性化協議会が主催する地域の活性化施策であるが、当初の企画に志波柿の販売はできなかつたかと相談したところ快くご協力いただいたものである。

九州北部豪雨で亡くなられた方へ謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。ともに早期の復旧・復興を祈念します。



志波の富有柿販売 埼玉へ

朝倉の被災状況を逐次「遠野まごころネット」様へ情報提供を行ってきたが、この度、復興支援ショップ「みちのく社中/関東事務所」で志波の富有柿を販売していただけることとなった。
↓遠野まごころネット【みちのく社中/関東事務所】facebookより

福岡県朝倉市の柿之屋さんから、おいしい富有柿がたくさん届きました。11/22(水)から店頭で並べています。福岡は、甘柿の生産量が日本一なんですよ。※柿之屋さんは、7月の九州北部集中豪雨で被災したぶどう畑や柿畑を復旧しながらがんばっておられます。



▲旬の志波柿が並べられている